

教師用アンケート(後期)

1 実施時期 令和5年11月16日～11月22日

2 回答数 21名

3 表の見方

○数値はAとBの合計で%

○A：そう思う・あてはまる B：どちらかというと思う・あてはまる

	質 問	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
		後期	前期	後期	前期	後期	前期
1 確かな学力の育成							
(1)	教師の授業力向上を図っている。	100%	94	100	100	100	95
(2)	小中連携の「授業作法の5か条」をもとに学習マナー、ルールの徹底・定着を図っている。	94%	94	100	95	100	95
(3)	ドリルなどを通して、計算力や漢字力の向上を図っている。	100%	100	100	100	100	94
(4)	個に応じたきめ細やかな指導や支援に努めている。	100%	94	100	100	100	95
2 豊かな心の育成							
(1)	心に響く道徳教育を進め、道徳的な実践力の育成を図っている。	84%	82	95	94	94	95
(2)	ペア活動・異学年交流や地域の人々とのふれあい・体験活動等を通して、思いやりや感謝の心を養っている。	84%	100	100	84	100	100
(3)	小中連携のあいさつ運動を核にして、あいさつの定着に努めている。	90%	84	89	90	82	89
(4)	朝読書、読書週間、読み聞かせ等の活動を充実させ、読書への意欲化を図っている。	100%	94	100	94	100	100
3 健康や体力の増進							
(1)	家庭と連携して規則正しい生活習慣を身につけさせている。	95%	94	95	100	100	100
(2)	安全な生活を送れるようルールの理解や安全意識を高めている。	100%	100	100	100	100	100
(3)	歯磨き指導などを行い、健康についての意識を高めている。	100%	100	100	94	94	100
(4)	持久走やなわとび運動など楽しく健康の増進を図っている。	94%	89	100	95	100	89
(1)	発達段階に応じた「キャリア教育」を推進させている。	89%	88	100	94	94	89
(2)	英語活動や情報・地域・環境・福祉などのテーマを総合的な学習の時間等で学び合う中で、自ら学ぼうとする意欲を高め、主体的な学習態度の育成を図っている。	94%	88	95	94	94	89
(1)	在校時間等の状況調査を毎日忘れずに記録している。	76%	72	85	85	88	95
(2)	長時間労働による健康障害防止のために、時間外労働が80時間を超えないように意識して勤務している。	67%	83	90	85	89	95

【対策】

①「確かな学力の育成」では、今年度から校内現職教育の研究主題を「自分の意見を意欲的に表現できる児童の育成～国語科を中心に、伝え合う場の充実を目指して～」とし、授業の中で、話し合いの場やハンドサイン、相づちなどを意図的に活用させることで、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けて努力してきた。今後も、国語科を中心に授業法研究を進めるとともに、様々な教育活動の場において、自分の考えや思いを自分の言葉で表現できる児童育成に努めていきたい。

②「かしこく あかるく たくましく」の学校スローガンのもと、「あいさつ運動」や「あすなる運動」「縦割り活動」など、児童の情操教育に日々取り組んできた。今後も、児童会や委員会活動と関連づけて、子ども目線で豊かな心の育成に努めていく。児童のキャリア形成に向けては、地域の方との交流会や外部講師による出前授業など積極的に取り組んできた。今後も、家庭や地域などの様々な人材を活用して、「生きる力」につながる活動や支援をしかけながら、児童のキャリア教育を推進していきたい。

③生き生きとした学校生活を送るためには、体も心も健康であることが大切である。休み明けの欠席や遅刻が多く、登校後に体調不良を訴える児童もみられる。休日に体をゆっくり休められないことや、ゲームやスマートフォンなどの長時間利用が一因との調査結果もある。SNSの被害も懸念されるので、情報モラル教育を含めた適切な利用を指導していく。また、運動中のけがも増加傾向にあり、児童の体力低下も心配である。引き続き、外遊びの励行や体育でのサーキットトレーニングを通して基礎体力の向上を図りたい。